

りょういき にんげん しゃかい
＜領域：人間と社会＞

にんげん そんげん じりつ
人間の尊厳と自立

問題 1 社会福祉の理念を発展させた人物に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1 バンク-ミケルセン(Bank-Mikkelsen, N.)は、「ソーシャルロール・バロリゼーション(Social Role Valorization)」を提唱した。

2 ニイリエ(Nirje, B.)は、「ノーマライゼーション(normalization)の8つの原理」を提唱した。

3 ヴォルフエンスベルガー(Wolfensberger, W.)は、「エーデル改革」を提唱した。

4 リッチモンド(Richmond, M.)は、「ケースワークの7原則」を提唱した。

5 エリクソン(Erikson, E.)は、「自立生活運動の理念」を提唱した。

問題 2 Aさん(62歳, 男性, 要介護2)は, 2年前に筋萎縮性側索硬化症 (amyotrophic lateral sclerosis : ALS) と診断された。妻と自宅で過ごしたいと希望し, 訪問介護(ホームヘルプサービス) と訪問看護を利用している。最近, 症状が進行しサービス担当者会議でAさんは, 「人工呼吸器はつけないで, 最期まで自宅で生活したい」と言った。

会議のあと, 妻は訪問介護員(ホームヘルパー) に, 「夫にはなかなか言えないのですが, 一日でも長く一緒にいたいので, 私は人工呼吸器をつけてほしいと思っています」と気持ちを伝えた。

次のうち, Aさんの妻に対する訪問介護員(ホームヘルパー)の提案として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「会議で話されていたAさんの意思が大切なので, 尊重しませんか」
- 2 「私にはわからないので, 医師に決めてもらってはどうか」
- 3 「Aさんに人工呼吸器をつけてもらったほうがいいですよね」
- 4 「Aさんとお互いの気持ちを話し合う時間をつくりませんか」
- 5 「病院や施設の情報がほしいと介護支援専門員に伝えてはどうか」

りょういき かいご
＜領域：介護＞

かいご きほん
介護の基本

問題 3 介護施設における介護ロボットに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 導入した施設は、人員配置基準が撤廃される。
- 2 使用方法は、職員個人の判断で行う。
- 3 導入することによって、利用者の自立支援や生活の質の向上が期待される。
- 4 導入の目的は、職員と利用者とのかかわりを最小限に抑えることである。
- 5 導入によって、職員の巡回は不要になる。

問題 4 次の記述のうち、指定避難所での要配慮者に対する生活支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 避難所内の情報提供には、音声やピクトグラム(pictogram)も取り入れる。
- 2 避難所内では、二次避難に備えて土足で過ごしてもらう。
- 3 食事は、被災者の平等性、公平性の観点から同じものを提供する。
- 4 トイレは、感染予防のために和式便器が望ましい。
- 5 生活範囲は、区画されたスペースに限定する。

問題 5 ユニバーサルデザイン(universal design)の7原則に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 安全で使いやすいデザインにする。
- 2 要介護高齢者を対象とする。
- 3 個別対応より標準化を優先する。
- 4 介護福祉職にとって操作しやすいことを優先する。
- 5 デザインの美しさを優先する。

問題 6 Aさん(51歳、男性、障害支援区分5)は、知的障害がある。共同生活援助(グループホーム)で生活をしている。日中は、生活介護を利用して軽作業を行っている。Aさんは、タオルに強いこだわりを持っていて、なじみの店で自分が選んだタオルしか使用しない。これまでタオルは、両親と買いに行っていたが、両親が高齢になり行けなくなった。Aさんの両親から、サービス管理任者に、「強いこだわりがあるので、いつも行く店で本人にタオルを選ばせてほしい。何か良いサービスはありませんか」と相談があった。

次の記述のうち、サービス管理責任者の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 店までの移動に不安があるため、同行援助を勧める。
- 2 身体機能の維持・向上のために、自立訓練(機能訓練)を勧める。
- 3 一人で外出できるように、自発的活動支援を勧める。
- 4 自立した日生活が送れるように、自立生活援助を勧める。
- 5 本人が買物に行けるように、行動援助を勧める。

問題 7 次の記述のうち、介護保険制度における一人暮らしの要支援者を支えるサービスの内容として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 夜間を安心して過ごすために、夜間対応型訪問介護を利用する。
- 2 自宅で安全に移動するために、介護予防住宅改修を利用する。
- 3 趣味のカラオケに行くために、小規模多機能型居宅介護を利用する。
- 4 身元保証や死後の財産処分のために、高齢者等終身サポート事業を利用する。
- 5 金銭管理のために、日常生活自立支援事業を利用する。

問題 8 Aさん(91歳、女性、要支援2)は、長年診療所の医師として地域医療に貢献してきた。婚姻歴はなく、診療所敷地内の自宅で3匹の猫と暮らしている。85歳で医師を引退した後も、近隣にはAさんを慕う地域住民が多く、定期的に、「先生、元気にしてますか」とAさんの自宅を訪ねている。

Aさんは昨年から歩行の不安を訴え、現在は地域住民の見守りのほか、訪問型サービスを週2回利用している。人の世話になることに慣れていない様子もあるが、最期まで自宅で暮らすことを望んでいる。

次の記述のうち、Aさんの生活史を尊重した訪問介護員(ホームヘルパー)の声かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「3匹の猫は、今後は地域の皆さんに預けましょう」
- 2 「近所の方の力も借りて、この地域で暮らしていけるように考えていきましょう」
- 3 「介護を受けることにも、今後は慣れてください」
- 4 「医師であったことは忘れて、私たちを頼ってください」
- 5 「一人暮らしで自宅で最期を迎えるのは、不安がありますよね」

問題 9 次の記述のうち、介護老人保健施設における在宅復帰に向けたカンファレンスで、介護福祉士が連携する職種^{しよくしゆ}の役割として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 歯科衛生士^{しかえいせいし}が、義歯^{ぎし}を作成する。
- 2 看護師^{かんごし}が、車いす^{くるま}を貸与^{たいよ}する。
- 3 介護支援専門員^{かいごしえんせんもんいん}(ケアマネジャー)が、訪問介護計画^{ほうもんかいごけいかく}を作成する。
- 4 福祉用具専門相談員^{ふくしようぐせんもんそうだんいん}が、下肢^{かした}の機能訓練^{きののうくんれん}をする。
- 5 作業療法士^{さぎょうりょうほうし}が、自宅^{じたく}の玄関^{げんかん}の段差^{だんさ}を確認^{かくにん}する。

問題 10 次の記述のうち、介護老人福祉施設におけるリスクマネジメントとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 安全対策担当者^{あんぜんたいさくたんとうしや}を置き、事故発生予防^{じこほっせいよぼう}のための委員会^{いいんかい}を定期的^{ていきてき}に開催^{かいかい}する。
- 2 家族^{かぞく}からの苦情^{くじやう}は、介護福祉職^{かいごふくししよく}が、その場^ばで解決^{かいけつ}する。
- 3 利用者^{りようしや}の私物^{しぶつ}を壊^{こわ}したときは、介護福祉職^{かいごふくししよく}の自己判断^{じこはんだん}で弁償^{べんしやう}する。
- 4 入浴介助時^{にゅうよくかいじよじ}のインシデント^{いんしでんと}の報告^{ほうこく}は、職員間^{しよくいんかん}の口頭^{こうとう}による伝達^{でんたつ}に統一^{とういつ}する。
- 5 事故防止^{じこぼうし}のため、地域^{ちいき}のお祭り^{まつり}への参加^{さんか}は控え^{ひか}える。

問題 11 次の記述のうち、介護現場におけるレジオネラ菌^{きん}の感染対策^{かんせんたいさく}として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 感染者^{かんせんしや}の衣類^{いるい}は、熱湯^{ねつとう}で煮沸消毒^{しやふつしやうどく}する。
- 2 提供する食品^{ていきじやう}は、加熱調理^{かねつちやうり}を徹底^{てってい}する。
- 3 循環式浴槽^{じゆんかんしきやうそう}は、塩素系薬剤^{えんそけいやくざい}を使用して消毒^{しやうどく}する。
- 4 ドアノブ^{どあのぶ}は、次亜塩素酸ナトリウム液^{じあえんそさん}で消毒^{えきしやうどく}する。
- 5 家庭用加湿器^{かていじやうかじつき}のタンク^{たんく}の水^{みず}は、常に貯め^{つねため}ておく。

問題 12 介護福祉職が受けるストレスチェック制度に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 3年に1回の実施が義務づけられている。
- 2 労働者数が常時100名の事業場は受検が免除される。
- 3 結果は労務管理を行う介護主任へ提供され、面接指導に活用する。
- 4 心理的な負担の程度を把握するためのものである。
- 5 高ストレスと判定された場合は、産業医による治療が必須である。

りょういき にんげん しゃかい
＜領域：人間と社会＞

しゃかい りかい
社会の理解

もんだい 13 民法の親族に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 三親等内の血族を家族と規定している。
- 2 六親等内の姻族を親族と規定している。
- 3 いとは互いに扶養する義務があると規定している。
- 4 同居する親族は互いに扶け合わなければならないと規定している。
- 5 養子と養親の間には、親族関係は生じない。

もんだい 14 次の記述のうち、「令和4(2022)年 国民生活基礎調査」(厚生労働省)における、高齢者に関する調査結果として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造で最も多いのは、親と未婚の子のみの世帯である。
- 2 高齢者世帯は5割以上を占めている。
- 3 要介護者等と同居の主な介護者の年齢の組合せでは、65歳以上同士が約6割を占めている。
- 4 介護が必要となった理由の第1位は、骨折・転倒である。
- 5 1世帯当たりの平均所得金額では、高齢者世帯では600万円を超えている。

問題 15 Aさん(78歳, 女性)は, 一人暮らしである。家事や買物は, 時間はかかるが, できるだけ自分で取り組んでいる。近くに頼れる親族がいないため, 緊急時にすぐに通報できる公共サービスを利用している。Aさんは, 定期的に市の窓口や地域包括支援センターに今後の生活支援について相談している。近所には, 毎日散歩を一緒にしている友人グループがいて, 散歩に来ない仲間がいると訪問して声をかけあっている。

次のうち, Aさんの生活を支える自助に該当するものとして, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Aさんが身辺のことを, 時間をかけてもやること
- 2 緊急時にすぐに通報できる公共サービスを利用していること
- 3 市の窓口の職員が相談に応じること
- 4 地域包括支援センターの職員が相談に応じること
- 5 散歩仲間が声をかけあっていること

問題 16 介護保険制度における介護サービス利用に関する次の記述のうち, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 65歳未満の者は, 保険給付の対象外である。
- 2 保険給付には, 支給限度額がある。
- 3 要介護認定の有効期限は, 原則として3か月である。
- 4 保険給付による福祉用具の貸与は, 要介護3以上の者が対象である。
- 5 地域包括支援センターに相談する前に, 要介護認定を受ける必要がある。

問題 17 次の記述のうち、障害者福祉の歴史的展開として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 国際連合の障害者の権利に関する条約の影響を受け、障害者基本法に「社会的障壁の除去」が規定された。
- 2 第二次世界大戦後5年以内に、優生保護法が廃止された。
- 3 「精神薄弱者福祉法」の制定によって、知的障害者の入所施設からの地域移行が推進された。
- 4 社会福祉基礎構造改革によって、高齢者より先に障害者の福祉制度が利用契約制度となった。
- 5 身体障害、知的障害、精神障害のうち、福祉に関する法律の制定が最も早かったのは知的障害である。

(注) 「精神薄弱者福祉法」とは、現在の知的障害者福祉法のことである。

問題 18 次の記述のうち、障害者福祉に関係する機関やシステムとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 地域活動支援センターは、補装具の判定を行う。
- 2 基幹相談支援センターには、介護福祉士の配置が義務となっている。
- 3 都道府県は、身体障害者更生相談所を設置しなければならない。
- 4 都道府県は、障害支援区分の認定を行う。
- 5 利用者負担の額は、市町村障害福祉計画によって決められる。

問題 19 障害者虐待防止に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 養護者による虐待が疑われる障害者を発見した場合、都道府県へ通報する義務がある。
- 2 著しく拒絶的な対応は身体的虐待に当てはまる。
- 3 使用者による障害者虐待は含まれない。
- 4 行政職員が障害者福祉施設等に、立ち入り調査を行うことは許されていない。
- 5 虐待を発見した障害者福祉施設従事者が通報した場合、業務上の守秘義務違反にはならない。

問題 20 Aさん(82歳、女性、要介護1)は、自宅で一人暮らしをしている。

外出機会が少ないAさんを心配して、民生委員が定期的に見守りを行っている。ある日、民生委員から地域包括支援センターに、「Aさんのように、家に閉じこもりがちな要介護者が増えている。民生委員だけでは十分な見守りができない」と相談があった。

次の記述のうち、地域包括支援センターの職員の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者本人による相談が原則のため、Aさん自身が相談に来るように促す。
- 2 介護サービスを利用するため、Aさんのケアプランを作成する。
- 3 フォーマルな社会資源の活用を優先し、民生委員のかかわりを制限する。
- 4 地域ケア会議において、関係者と地域課題について話し合う。
- 5 要介護者の実態を把握するために、介護保険審査会を設置する。

問題 21 法定後見制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 65歳未満の者は利用することができない。
- 2 判断能力が十分ある者には、後見人をつけることができない。
- 3 市町村長は、後見開始の審判を請求することができない。
- 4 法人を後見人に選任することはできない。
- 5 後見人は財産管理を行うことはできない。

問題 22 有料老人ホームに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 入居する高齢者に、介護、食事の提供、家事、健康管理のうち1つ以上のサービスを提供する。
- 2 状況把握サービスと生活相談サービスの提供が義務づけられている。
- 3 自立した高齢者は、入居の対象外である。
- 4 共生型サービスとして、指定を受けることができる。
- 5 介護保険制度の指定対象外である。

問題 23 生活困窮者自立支援法に関する記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害者は対象から除外されている。
- 2 生活困窮者自立相談支援事業は、社会福祉法人へ委託できない。
- 3 生活困窮者自立相談支援事業は、市にとって任意事業である。
- 4 生活困窮者住居確保給付金の支給は、市にとって必須事業である。
- 5 都道府県の責務は規定されていない。

問題 24 次の記述のうち、生活保護制度における補足性の原理として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 申請に基づいて保護を行う。
- 2 国の定める基準によって測定された需要をもとに保護を行う。
- 3 個人の必要に応じてできるだけ早く保護を行う。
- 4 資産・能力を活用した上で保護を行う。
- 5 世帯を単位として保護を行う。

＜領域：人間と社会＞

人間関係とコミュニケーション

問題 25 新人職員のAさん(20歳)は、子どもの頃からの夢だった介護福祉職になり、がんばって働いていた。ただ、介護の技術をもっと学ぶ必要があるといつも感じていた。ある日、利用者Bさんに、「Aさんじゃダメだ、別の人を呼んで」と言われて、ショックを受けた。悩むうちに利用者とかかわりたくないと感じるようになり、眠れなくなってしまった。

次の記述のうち、このような状況にあるAさんが、ストレスを取り除くためにまず行うべき対処方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 つらさから逃げず、学びが足りないことを自覚する。
- 2 介護の技術がうまくなるために、全力で取り組む。
- 3 眠れるように、毎晩飲酒する。
- 4 上司や同僚などに悩みを話して、助言を受ける。
- 5 介護福祉職には向かないと判断して、転職する。

問題 26 Aさんは有料老人ホームに入所したばかりである。ある日、廊下を行ったり来たりしているAさんに、B介護福祉職が声をかけた。Aさんは、「私の部屋はどこですか」と困った様子で答えた。B介護福祉職が、「ここから2つ隣の部屋です」と伝えると、Aさんは、「どこですか」と不安そうな表情で聞いた。B介護福祉職は非言語的コミュニケーションを用いて伝えることにした。

次の記述のうち、B介護福祉職が用いた非言語的コミュニケーションとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ゆっくり話した。
- 2 大きな声で伝えた。
- 3 Aさんの部屋の番号を紙に書いて渡した。
- 4 Aさんに近づいた。
- 5 Aさんの部屋のドアを指差した。

問題 27 次のうち、介護福祉施設におけるコンプライアンスの意味として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 法令を遵守すること
- 2 給与を引き上げること
- 3 連携を促進すること
- 4 介護技術の向上に努めること
- 5 管理体制を強化すること

問題 28 入社して3か月のA介護福祉職は、初めて夜勤を経験したとき、排泄チェック表の記入でミスをしてしまった。起床介助で忙しい時間に記入したために、記載箇所を間違えてしまった。A介護福祉職は自身のミスを受け入れられず、落ち込んでいる。

次の記述のうち、A介護福祉職に対する支持的スーパービジョンとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 同僚と一緒に排泄チェック表を確認する。
- 2 施設長から再発防止に向けた対応を指示する。
- 3 上司がA介護福祉職の気持ちの理解に努めつつ、状況を確認する。
- 4 看護師が利用者のその後の状況を確認する。
- 5 業務マニュアルを見直して、上司が必要な修正を行う。

りょういき かいご
＜領域：介護＞

コミュニケーション^{ぎじゆつ}技術

もんだい 29 つぎのうち、りようしやとのコミュニケーション^{ばめん}場面で、かいごふくししよく^{おこな}う

じこ^{かいじ}自己開示の目的として、^{もつと}最も適切なものを1つ^{えら}選びなさい。

- 1 じこ^{せんざいいしき}自己の潜在意識を^{かつよう}活用するため
- 2 りようしやとの^{しんらいかんけい}信頼関係を^{ひようか}評価するため
- 3 りようしやに^{じぶんじしん}自分自身の^{じょうほう}情報を知らせるため
- 4 りようしやとの^{しんらいかんけい}信頼関係を^{けいせい}形成するため
- 5 じこを^{ふか}深く^{ぶんせき}分析し、^{きやうくわんてき}客観的に^{りかい}理解するため

問題 30 A介護福祉職は、認知症(dementia)のある Bさん(80歳, 女性)と会話をしている。Bさんは、「私は小さい頃毎年お祭りに行くことが楽しみだね」「なんだか最近ひざが痛いような気がするね」「今から何をしようかしらね」と、次々に話している。A介護福祉職は、Bさんが混乱しないように、「Bさん、子どもの頃の思い出や体調のことをお話くださっているのですね」と返答した。

次のうち、A介護福祉職が行ったコミュニケーション技術として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 要約
- 2 承認
- 3 賞賛
- 4 共感
- 5 同意

問題 31 次の記述のうち、利用者の家族との関係づくりにおける介護福祉職の基本姿勢として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 お互いの緊張が解けるまでじっと待つ。
- 2 介護福祉職のペースで話を進める。
- 3 利用者の意向よりも家族の意向を優先する。
- 4 家族への連絡は最小限にする。
- 5 利用者支援で協働するパートナーとして接する。

問題 32 Aさん(80歳、女性、要介護3)は中途障害の全盲である。介護老人

福祉施設に入所している。最近、食堂の席の入れ替えがあった。Aさんは同じテーブルの利用者同士の会話を、自分に向けて話しかけられていると思って、応答した。しかし、誰からも反応はなく、Aさんは下を向いてしまった。その様子を見たB介護福祉職は、Aさんの状況に対応するために、同じテーブルの利用者にAさんの事情を話し、協力を求めた。

次の記述のうち、B介護福祉職が同じテーブルの利用者に協力を依頼した内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Aさんは疲れているので、部屋で休むように伝えてほしい。
- 2 Aさんは不安なので、そっと手を握ってほしい。
- 3 Aさんにもわかるように、話す相手の名前を呼んでから話しかけてほしい。
- 4 Aさんが混乱するので、食堂での会話は控えてほしい。
- 5 Aさんは施設の予定がわからないので、これから食事だと教えてほしい。

問題 33 Aさん(72歳, 男性)は記憶障害があり, 介護施設に入居している。あ

る日, 介護福祉職にAさんが, 「あの, ちょっとお願いがあるんです。ええとね, 実は, お昼ご飯をほとんど残しちゃいました…。それでね…, あ, あれかな, 調理師さんはがっかりしたかな, 私はずっと食堂をやっていたんですよ。店はけっこう繁盛していたけど閉めることになってね。あ, ええと何の話だったかな…」と話しかけてきた。

次のうち, このときのAさんの発言を促すための介護福祉職の応答として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「Aさんは, お店を閉めたくなかったのですね」
- 2 「Aさんは, どんな料理が得意だったのですか」
- 3 「調理師さんのことは気にしなくていいですよ」
- 4 「どこかからだの具合が悪いのではないですか」
- 5 「何かお願いがあるのではありませんか」

問題 34 次の記述のうち, 客観的事実に該当するものとして, 最も適切なものを

1つ選びなさい。

- 1 利用者Aは, 楽しかったはずだ。
- 2 利用者Aは, 朝食のパンを残した。
- 3 利用者Aは, 何か言いたそうだった。
- 4 利用者Aは, 不安だったと思う。
- 5 利用者Aは, 退屈そうにしていた。

りょういき かいご
＜領域：介護＞

せいかつしえんぎじゆつ
生活支援技術

もんだい 35 つぎ きじゆつ のうち、かいごふくしじよく おこな りようしよ せいかつしえん として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 りようしよ ができないことを代わりに 行う ことに重点をおく。
- 2 りようしよ の全体像をとらえて支援する。
- 3 りようしよ がすべてを自分一人ですることができるようにする。
- 4 りようしよ の生活の効率化を図ることを目標にする。
- 5 りようしよ に同情する気持ちで寄り添う。

もんだい 36 かいごろうじんふくしじせつ における、かいてき しつないかんきよう に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 かぜ とお みちをつくって、かんき おこな 行う。
- 2 て すりは、かべがみ おな いろ つか 使う。
- 3 ベッドライトの光源は、りようしよ の目に直接あたるように調整する。
- 4 カビの発生を予防するために、しつど たか たも 湿度は高く保つ。
- 5 くつおと ちい を小さくするために、かた ゆかざい 硬い床材にする。

問題 37 パーキンソン病 (Parkinson disease) の人の住まいに関する次の記述の

うち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 玄関の段差には、スロープを設置する。
- 2 廊下の床には、歩幅に合わせて目印をつける。
- 3 リビングの床には、大きさの違うカーペットを重ねて敷く。
- 4 移動空間が狭くなるように、家具を配置する。
- 5 リビングは1階、浴室は2階にして、階段で行き来する。

問題 38 次の記述のうち歩行が不安定になり、移動の意欲が低下している利用者

に対する介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 福祉用具の使用は避けて、自力での歩行を目指すように促す。
- 2 移動の目的を伝えるよりも、歩行機能の改善を優先する。
- 3 成功体験を積み重ねることができるよう、達成可能な歩行の目標距離を設定する。
- 4 歩行の不安定さに合わせて、移動範囲を縮小する。
- 5 本人が希望しなくても、介護福祉職の判断で毎日歩くことを目標にする。

問題 39 次の記述のうち、右片麻痺のある利用者に対する、仰臥位(背臥位)から

車いすへの移乗の介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者には右側臥位になって起き上がるように促す。
- 2 端座位になった利用者の左側に立つ。
- 3 端座位になった利用者の右側に、車いすを置く。
- 4 車いすのフットサポートは下げておく。
- 5 移乗するときは、利用者には前傾姿勢をとるように促す。

問題 40 視覚障害者の歩行時の誘導に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉職は、利用者の半歩後ろで背中を支えながら歩く。
- 2 介護福祉職は、白杖に触れながら歩く。
- 3 狭い通路では、介護福祉職は利用者の後ろを歩く。
- 4 階段利用時は、介護福祉職は階段の前で声かけして止まる。
- 5 介護福祉職は、利用者が握っている上肢を振って歩く。

問題 41 身じたくの目的に関する次の記述のうち、国際生活機能分類(ICF)における「心身機能・身体構造」の観点から考えられるものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 体温を調整する。
- 2 身体を清潔に保つ。
- 3 セルフケアを行う。
- 4 自分を表現する。
- 5 周囲との人間関係を調整する。

問題 42 次の記述のうち、介護が必要な利用者への口腔ケアとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 仰臥位(背臥位)で行う。
- 2 歯垢を除去するためにうがいをしてもらう。
- 3 歯ブラシで歯を1, 2本ずつ磨く。
- 4 スポンジブラシは乾いた状態で使用する。
- 5 部分床義歯(局部床義歯)はつけたまま行う。

問題 43 次のうち、右片麻痺の利用者が前開きの上着を着脱するときに介護福祉職が行う説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「脱ぐときは、左肩の衣服を下げた後、右側の袖から腕を抜きましょう」
- 2 「脱ぐときは、右肩の衣服を下げた後、右側の袖から腕を抜きましょう」
- 3 「襟元を手前にして、腿の上に置きましょう」
- 4 「着るときは、右袖を肘まで通してから、左袖を通しましょう」
- 5 「着るときは、右袖を肩まで通してから、左袖を通しましょう」

問題 44 次の記述のうち、介護老人福祉施設における食事に関する支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食堂の換気は、不要である。
- 2 食事中は、会話を控えるようにする。
- 3 食事が楽しくなるような雰囲気をつくる。
- 4 食べ終わった利用者の食器は、すぐに下膳する。
- 5 照明は、明るさを25ルクス(1x)以下にする。

問題 45 次の記述のうち、椅子に座って食事をするときに、利用者が食事をしやすい姿勢を確保するための介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 足底を床につけてもらう。
- 2 テーブルと身体の間は30cm離してもらう。
- 3 椅子に浅く座ってもらう。
- 4 体幹を後方に傾けてもらう。
- 5 顎を上げてもらう。

問題 46 咀嚼機能が低下した利用者の食事介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 大きめのスプーンで吸い込むように食べてもらう。
- 2 一口量は、ティースプーンに軽く一杯を目安にする。
- 3 食べる順番は、介護福祉職の判断で行う。
- 4 スプーンは、舌の奥にのせるように入れる。
- 5 咀嚼が始まったら、すぐに次の食べ物を口に入れる。

問題 47 Aさん(60歳、女性、要介護3)は、介護老人福祉施設で生活している。

食事は見守りのもとでほぼ自力で摂取しているが、嚥下機能は低下してきている。

医師からは、食事摂取に配慮するように指導されている。ある日の昼食中、Aさんは食事を1/3ほど食べたところで箸を止め、表情がこわばり、呼吸もやや浅くなった。

次の記述のうち、介護福祉職が医療職に報告すると同時に、最初に行う対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

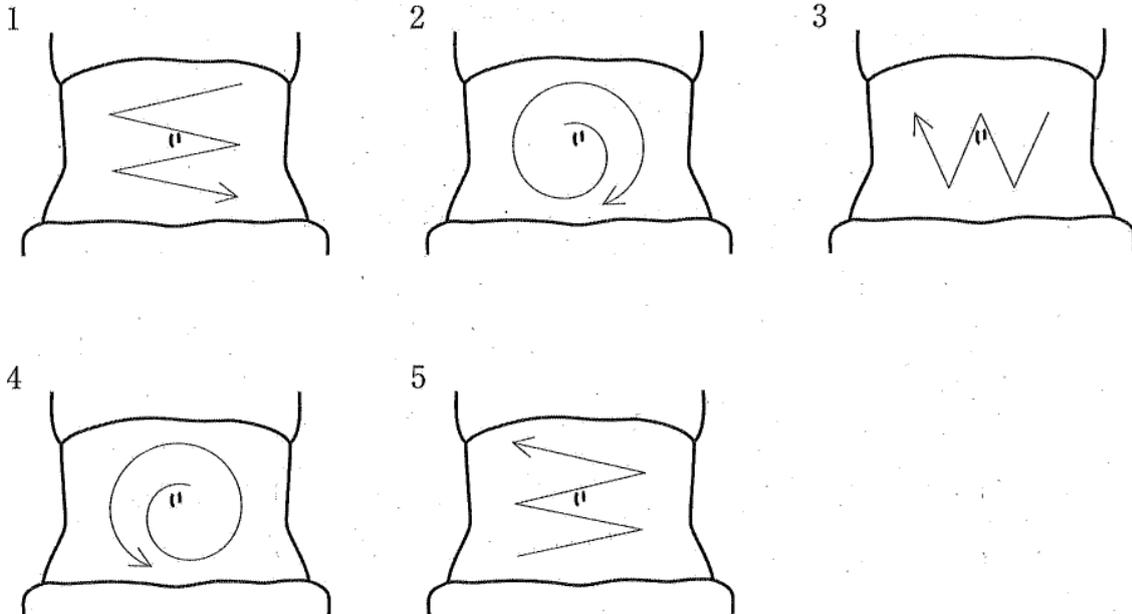
- 1 血圧を測定する。
- 2 口腔の状況を観察する。
- 3 口すばめ呼吸を促す。
- 4 その場で仰臥位(背臥位)になってもらう。
- 5 すぐに薬を服用してもらう。

問題 48 ベッド上で行う陰部洗浄に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 滅菌手袋を使用して行う。
- 2 上半身はベッドの手前端に移動する。
- 3 バスタオルで両下肢を包む。
- 4 洗浄する時は、43℃のお湯を用いる。
- 5 終了後は、蒸しタオルで水分を拭き取る。

問題 49 腹部の清拭の方法を図に示す。矢印は拭く方向を表している。

次のうち、基本的な清拭の方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。



問題 50 Aさん(55歳, 男性, 会社員)は, 20歳のときに交通事故で第5頸髄(C5)

を損傷した。現在, 電動車いすを利用し, 自宅で自立した生活を送っている。身体状況は安定しているが, ときどき仙骨部に褥瘡ができることがある。入浴は, 居宅介護(ホームヘルプサービス)を利用して, 訪問介護員(ホームヘルパー)が福祉用具を用いて入浴介護をしている。

次のうち, Aさんが入浴時に使用している福祉用具として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 移乗台
- 2 バスボード
- 3 入浴用リフト
- 4 浴槽用手すり
- 5 滑り止めマット

問題 51 Aさん(85歳, 男性, 要介護3)は, アルツハイマー型認知症(dementia

of the Alzheimer's type) と診断され, 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)で生活をしている。入所時, Aさんは, 尿意や便意はあり, 自分でトイレに行って排泄できていた。最近, 認知機能の低下によって, トイレ以外の場所で排泄するようになった。

次の記述のうち, Aさんの状態に合わせた介護福祉職の対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 骨盤底筋訓練を行う。
- 2 紙おむつを使用する。
- 3 一日の水分摂取量を減らす。
- 4 ほかの利用者と同じ時間にトイレへ誘導する。
- 5 トイレの出入口に「トイレ」と書いた紙を貼る。

問題 52 次のうち、下痢をしている利用者の水分補給として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 白湯
- 2 牛乳
- 3 炭酸水
- 4 コーヒー
- 5 冷水

問題 53 Aさん(83歳、男性、要介護1)は、一人暮らしで、少額の年金で生活している。Aさんは軽度の認知症(dementia)と診断を受けている。近所には親しくしている人が複数いる。ある日、訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問すると、近所のスーパーで購入した未開封の健康食品が山積みになっていた。Aさんが財布を持ってきて、「買いたいものがたくさんあるが、お金が足りない。どうしたらよいか」と訪問介護員(ホームヘルパー)に相談した。

このときの訪問介護員(ホームヘルパー)の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「お金は足りているから安心して大丈夫ですよ」と伝える。
- 2 近所の親しい人に、財布を預かってもらえるか、聞いてみる。
- 3 鍵付きの引き出しに財布を入れ、訪問介護員(ホームヘルパー)が鍵を管理する。
- 4 「お金の使い方について、一緒に考えてみませんか」と提案する。
- 5 健康食品のクーリング・オフを勧める。

問題 54 繊維や衣類の性質と洗濯方法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 綿の柄物シャツには酸素系漂白剤を使う。
- 2 ナイロンのレインウェアは脱水時間を長くする。
- 3 ウールのニットセーターは乾燥機を使う。
- 4 レーヨンのパジャマはすすぎ時間を長くする。
- 5 絹のブラウスには弱アルカリ性洗剤を使う。

問題 55 Aさん(82歳、女性、要介護1)は、訪問介護(ホームヘルプサービス)を週1回利用し、生活援助を受けながら、自宅で一人暮らしをしている。調理はAさん本人が行うなど、できることは自分で行いたいと思っている。ある日、訪問介護員(ホームヘルパー)はAさんから買物リストを渡されて、近くのスーパーで食材を購入してきた。

次の記述のうち、Aさんへの生活援助における訪問介護員(ホームヘルパー)の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 依頼された食材が安かったので、リストに書かれた数より多く購入した。
- 2 おつりとレシート、購入した食材の確認を、Aさんにすべて任せた。
- 3 冷蔵庫を開けたとき、賞味期限切れの食材があったため廃棄した。
- 4 買物リストは、次から訪問介護員(ホームヘルパー)が書くことを提案した。
- 5 購入した食材で調理しにくいものがないか、Aさんに確認した。

問題 56 次の記述のうち、良質な睡眠のための環境づくりとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日中は、強度の高い運動を多く取り入れる。
- 2 夜食は、就寝直前にとる。
- 3 入浴は、就寝の1～2時間前に行う。
- 4 眠気がなくても、決まった時間に目を閉じる。
- 5 寝ている間も、照明は明るくしておく。

問題 57 Aさん(83歳、女性、要介護3)は、脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症で左片麻痺があり、介護老人福祉施設に入所している。ある日の夜間、仰臥位(背臥位)で寝ていたAさんが、「背中が重く感じて、眠れない」と介護福祉職に訴えた。

次の記述のうち、介護福祉職がAさんに行う介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ファーラー位にして、左下肢にクッションを入れる。
- 2 両上肢の下に、クッションを入れる。
- 3 両膝窩部に、クッションを入れる。
- 4 右側臥位にして、クッションを抱いてもらう。
- 5 右下肢の足部に、クッションを入れる。

問題 58 次の記述のうち、介護老人福祉施設で、終末期にある利用者とその家族

に行う介護福祉職の支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の苦しそうな姿を見せないように、家族には面会を控えてもらう。
- 2 利用者と家族の関係が良好でない場合は、家族と連絡を取らないようにする。
- 3 好きなものや食べたいものがある場合は、家族に持ってきてもらう。
- 4 苦痛を訴える場合は、家族から激励してもらう。
- 5 家族が不安になるため、体調の変化は伝えないようにする。

問題 59 次の記述のうち、施設で亡くなった利用者家族への介護福祉職の対応と

して、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 悲しみの表出があった時点からかかわりを開始する。
- 2 傾聴よりも励ますことを重視する。
- 3 悲嘆は特異な反応のため注意する。
- 4 故人との思い出には触れないようにする。
- 5 悲嘆が長期化した場合は、専門医等へ相談するように助言する。

問題 60 次のうち、固定式歩行器が適した利用者として、最も適切なものを1つ
選びなさい。

- 1 対麻痺で、下肢を交互に出すことができない人
- 2 片麻痺があって、麻痺側の指関節の拘縮がある人
- 3 両上肢の筋力が弱く、手関節に痛みがある人
- 4 両手の握力が保たれていて、数秒程度の立位保持ができる人
- 5 右の足根骨を骨折して、右下肢に体重をかけることができない人

Aパートの問題はここまでです。